

1/7/1
DIALOG(R) File 352:Derwent WPI
(c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv.

007412910

WPI Acc No: 1988-046845/198807

Cosmetic compsn. contg. capsule coated with agar - has heat resistance without tackiness and is used in creams, skin lotions, etc.

Patent Assignee: MORISHITA JINTAN KK (MORI-N)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 002

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 63005011	A	19880111	JP 86149213	A	19860624	198807 B
JP 94104606	B2	19941221	JP 86149213	A	19860624	199504

Priority Applications (No Type Date): JP 86149213 A 19860624

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
-----------	------	-----	----	----------	--------------

JP 63005011	A		3		
-------------	---	--	---	--	--

JP 94104606	B2		3	A61K-007/00	Based on patent JP 63005011
-------------	----	--	---	-------------	-----------------------------

Abstract (Basic): JP 63005011 A

Compsn. comprises cosmetic material base and capsule coated with agar contg. oil component contg. enzyme and colour former.

USE/ADVANTAGE - The material is used in creams, shampoos, skin lotions, etc. The capsule is easily broken uniformly and has heat-resistance without tackiness.

0/2

Derwent Class: D21

International Patent Class (Additional): A61K-007/00

[HOME](#) [PATENTWEB](#) [TRADEMARKWEB](#) [WHAT'S NEW](#) [PRODUCTS&SERVICES](#) [ABOUT MICROPATENT](#)

Search List First Prev Next Last

MicroPatent's Patent Index Database: [Complete Family of JP63005011A]

2 record(s) found in the family

Order Selected Patent(s)

[no drawing available]

JP6104606B 19941221**Title:** (ENG) KANTENHIMAKUKAPUSERUOGANJUSURUKESHOYOSOSEIBUTSU**Application Number:** JP 14921386 A**Application (Filing) Date:** 19860624**Priority Data:** JP 14921386 19860624 A I;**Inventor(s):** INOE FUMYOSHI ; KAWAHARA JUZO ; YAMANAKA TERUAKI**Assignee/Applicant/Grantee:** MORISHITA JINTAN CO**IPC (International Class):** A61K00700**ECLA (European Class):** A61K00700M4**Other Abstracts for Family Members:** DERABS C88-046845; JAPABS 120202C000115

[no drawing available]

JP63005011A 19880111**Title:** (ENG) AGAR FILM CAPSULE-CONTAINING COMPOSITION FOR MAKEUP**Abstract:** (ENG)

PURPOSE: A composition for makeup effective for stability of active ingredient, protecting substances having change in properties by light, etc., containing agar film capsules comprising a makeup base, an active ingredient and an oily component as contents.

CONSTITUTION: A composition for makeup containing agar film capsules comprising a makeup base (e.g. milky lotion or pack) and an oily component as contents. Agar film capsules will not show pressure-sensitive adhesiveness in swelling, has heat resistance and readily collapses by pressing power and contents flow out. So in the case of massaging cream, the capsules are destroyed by lack of lubricating properties caused by continuation of massaging and a colorant of the contents may play a role of an indicator showing the end of massaging or in the case of the contents having change in properties by light rays, the contents can be protected by coloring of capsule film or addition of light screen. The capsules are preferably produced by using a double cylindrical orifice.

Application Number: JP 14921386 A**Application (Filing) Date:** 19860624**Priority Data:** JP 14921386 19860624 A I;**Inventor(s):** INOUE FUMIYOSHI ; KAWAHARA YUZO ; YAMANAKA TERUAKI**Assignee/Applicant/Grantee:** MORISHITA JINTAN CO**Last Modification Date:** 20040303**IPC (International Class):** A61K00700**ECLA (European Class):** A61K00700M4**Other Abstracts for Family Members:** DERABS C88-046845**Other Abstracts for This Document:** DERC88-046845

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-5011

⑪ Int. Cl.⁴
A 61 K 7/00識別記号 庁内整理番号
7306-4C

⑬ 公開 昭和63年(1988)1月11日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 寒天皮膜カプセルを含有する化粧用組成物

⑮ 特 願 昭61-149213

⑯ 出 願 昭61(1986)6月24日

⑰ 発 明 者 井 上 文 義 大阪府大阪市東区玉造1丁目1番30号 森下仁丹株式会社内
⑱ 発 明 者 河 原 有 三 大阪府大阪市東区玉造1丁目1番30号 森下仁丹株式会社内
⑲ 発 明 者 山 中 輝 明 大阪府大阪市東区玉造1丁目1番30号 森下仁丹株式会社内
⑳ 出 願 人 森下仁丹株式会社 大阪府大阪市東区玉造1丁目1番30号
㉑ 代 理 人 弁理士 青 山 稔 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

寒天皮膜カプセルを含有する化粧用組成物

2. 特許請求の範囲

1. 化粧用基剤および油状成分を内容物とする

寒天皮膜カプセルを含有する化粧用組成物。

2. 化粧用基剤が乳液またはバックである第1項記載の化粧用組成物。

3. 油状成分が酵素、発色剤を含有する第1項記載の化粧用組成物。

4. 寒天皮膜中に着色剤または遮光剤を配合してカプセル内容物を光分解から保護する第1項記載の化粧用組成物。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は寒天皮膜カプセルを含有する化粧用組成物に関する。

(従来技術およびその問題点)

化粧用組成物は種々の形態のものが市販されている。この組成物中に、他の有効成分、例えば、

酵素等を配合して、作用の改善あるいは別の効果を得ることが考えられるが、そのような有効成分の組成物中での安定性等が問題となる。また、光により変質する物質を透明な化粧用組成物に導入するのも困難である。

そこで、これらの有効成分の組成物への安定な配合方法が望まれている。

(問題点を解決するための手段)

本発明者等は化粧用組成物中に他の有効成分をカプセル、即ち、寒天皮膜カプセル内に封入して安定に配合し得ることを見出した。即ち、本発明は化粧用基剤および油状成分を内容物とする寒天皮膜カプセルを含有する化粧用組成物を提供する。

通常カプセルはゼラチン皮膜のものが多く用いられる。ゼラチン皮膜カプセルは壊れにくく強靱である反面、耐熱性弱く、膨潤時にべとつきがあり粒子同士の結着がおこる。このような性質はむしろ容易に壊れて内容物が流出した方が好ましい使用形態、および水性組成物中において結着しない方が好ましい使用形態には不向きである。即ち、

ゼラチンカプセルを化粧用組成物に導入するのは、カプセルが破れにくく、粘着の可能性があり好ましくない。本発明者等は種々のカプセル形成物質の中から、寒天が化粧用組成物には導入するのに最も好適であることを見出した。

寒天は紅ソウ類中に存在する粘着物で、主成分はアガロースと考えられている。

カプセルは上記寒天を用いて従来公知の種々の方法で生産される。寒天はゼラチンに比べて膨潤時の粘着性が少なく、二つの半球を形成してこれを接合する縫目のあるカプセルの製法は困難である。従って、縫目なしカプセル、いわゆるシームレスカプセルの製法が好適である。シームレスカプセルは一般に二重円筒オリフィスからカプセル内容物とカプセル皮膜物質を押出し、これから凝固液中で球形の液滴を形成するいわゆる滴下法が一般的である。滴下法の実例は特公昭51-8875号公報および特公昭53-1067号公報等が挙げられる。

化粧用基剤としては、従来公知のいかなるもの

一のカプセルを浮遊させるのもおもしろい。

本発明の寒天皮膜カプセルの態様を第1図および第2図に示す。

通常、皮膜1に前記種々の内容物2を封入したものである。前述のように皮膜1は着色または隠蔽剤を配合してもよい。第2図は、皮膜1内に内容物2があり、更にその内容物2中に寒天粒3が入っている。この寒天粒3を種々の色に着色するのもおもしろい。

上記目的に用いられるカプセルの粒径は種々の大きさであってよい。例えば、カプセルの着色により色を染しむような場合は、直径約1~5mmが好適であるが、色を変化させてインジケータの働きをさせる場合には0.1~2mm程度が好ましい。

(発明の作用・効果)

本発明によれば、寒天皮膜カプセルを特に化粧用組成物に用いる。寒天皮膜カプセルは押圧力で容易につぶれ、内容物が流出する。また、つぶれ方も均一で異物感がない。このカプセルは膨潤時

であってもよい。例えば、乳液、クリーム、パック、固形石けん等の一般的なものから、洗顔液またはシャンプー等の洗浄剤組成物も本発明の化粧用基剤に含まれる。これらの組成は特に限定されるものではない。

本発明において、寒天皮膜カプセル内に封入される内容物は、例えば種々の酵素、薬剤、染料(色素)、化粧用基剤がシャンプー等の時にはリンス等が考えられる。例えば、化粧用基剤がマッサージ用クリームの場合、マッサージの継続による水または溶剤の蒸発にともなう潤滑性の不足によりカプセルが破損され、内容物の着色剤によりマッサージの終点を示すインジケータの役目をするようにしてもよい。また、カプセル内容物が光の作用により変質するもの場合は、カプセル皮膜を種々の色に着色し、または遮光剤の添加により、内容物を光から隠蔽してもよい。内容物が水により容易に分解されるものである場合、カプセル皮膜がこの分解を防止する。また、このカプセルに種々の色を施し、乳液等の透明溶液に種々のカラ

に粘着性を示さず、しかも耐熱性がある。従って、種々の化粧用基剤、例えば、クリームをはじめ、シャンプー、洗顔乳液等に配合できる。

(実施例)

本発明を実施例により更に詳細に説明する。

実施例1

皮膜処方	重量%
寒天	2
精製水	98

上記皮膜処方を用いて、2重ノズル方式により植物油を核液とする粒径1~2mmφ、皮膜率83.5%の寒天皮膜カプセルを調製した。

その際、皮膜タンク温度80℃、皮膜ライン温度80℃、冷却液の温度は15℃であった。

得られたカプセルの硬度は3~8g/cm²であり、精製水中で60℃5時間加熱しても溶けなかった。

このカプセルを以下の処方のマッサージクリーム中に分散した。

処 方	重量%	皮膜処方	重量%
流動パラフィン	50.0	寒天	3
ミツロウ	15.0	酸化チタン	5
鯨ロウ	2.0	精製水	98
ラノリン	0.5	得られたカプセルを o/w 型乳液に結合した。	
C-1441 (ポリオキシエチレン・ソルビトール・ラノリン誘導体)	4.0	乳液の組成は以下の通りであった。	
アラッセル60(75%ソルビトールモノステアレート)	4.0	処 方	重量%
アラッセル81(75%ソルビトールモノステアレート)	0.5	鉱物油	1.00
ビーガム・ゲル	0.5	グリセリン	3.00
水	23.5	ステアリン酸	4.00
保存剤	適量	PEG 800モノステアレート	3.67
香料	適量	グリセリン モノエステル	1.67
		水	86.66

このクリームに寒天皮膜カプセルを結合し、マッサージを実行し、終点においてカプセルが壊れた。

実施例 2

以下の処方を用いる以外は、実施例 1 と同様に鉱物油を内核とする寒天皮膜カプセルを得た。

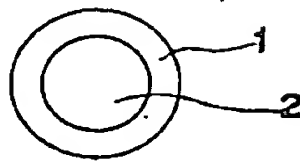
この乳液中で寒天皮膜カプセルは 50℃ で 18 0 日経過後も安定であった。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本発明に用いる寒天皮膜カプセルの一態様であり、第 2 図は別の態様を示す。

図中、1 … 寒天皮膜、2 … 内容物、3 … 寒天を示す。

第 1 図



第 2 図

